

MV 2 2 オスプレイの再飛来に抗議します

防衛大臣 小野寺 五典 様

外務大臣 岸田 文雄 様

北関東防衛局長 渡邊 一浩 様

8月5日、防衛省は横田基地周辺の5市1町に対し、「米海兵隊のMV 2 2 オスプレイ 2機が、人員輸送のため、8月9日に横田基地に着陸し、翌10日に同基地を離陸する可能性がある」との連絡を行いました。これを受けて5市1町は6日に、「基地周辺住民の安全性への懸念が払拭されないまま横田基地へ飛来が続くことがないよう、重ねて強く要請します。」との要請文を、政府に対して送付したことはご承知のことと思います。

7月19日と21日にMV 2 2 オスプレイが飛来したときにも、5市1町はもとより、青梅市・あきる野市・日野市なども、「MV 2 2 オスプレイの横田基地飛来は困ります。来ないで下さい。」とする趣旨の要請を政府に行いました。私たちも、政府にはこれまでの裁判の経緯を示しながら、飛来を行わないよう要請し、その後7月30日付けで抗議も行いました。

今般の「飛来の可能性がある」との連絡は、これまでのこうした経過を全く無視した無責任なもので、数十年にわたり、耐え難い騒音をはじめ様々な基地の被害を受けてきた者として、納得も容認も到底できるものではありません。

7月16日に行われた北関東防衛局での要請交渉の際、私たちの「騒音被害を少しでも軽減するために、飛行回数を減少させるとともに、飛来する航空機の数も制限し減らすべきだ。」との指摘に、異論は出されなかったはずです。

最初は「台風からの避難」、次は「民間団体のイベントでの展示」、今回は「人員輸送」が口実となっています。周辺住民の中からは、「取って付けたような口実で飛来強行を繰り返し“反対してもしょうがない”と諦めさせるのが目的だろう。」「だから人目に付くようわざわざ土・日を選んだんだろう。」という声が多く出ています。騒音被害に苦しむ基地周辺住民を愚弄した姑息なやり方であり、怒りを禁じ得ません。

ご承知のように、この夏は猛暑日が続き、勤労国民はあえぐように働いてい

ます。それ故この時期の休日は、とても大切な休養日となるのです。それを嘲笑うように「輸送」しなければならない「人員」とは、いったいどのような人たちなのでしょうか。その人たちはどのような用向きで横田基地に来るのでしょうか。「土日に来るんだ、兵隊に東京見物でもさせる気だろう」との声も多く聞かれます。他に高速で快適な機体もある中で、わざわざ遠距離を、MV 22 オスプレイを使って人員輸送する理由もわかりません。

結局周辺住民が指摘するように、今回の飛来は、見え透いた口実で既成事実を積み重ね、オスプレイの横田基地配備と、訓練基地化が目的と言わざるを得ません。私たちはここに、MV 22 オスプレイの再飛来に強く抗議するとともに、日本政府と米軍が、裁判所から繰り返し断罪されてきた騒音被害の軽減に、真摯に努力するよう求めるものであります。

2014年 8月 7日

第9次横田基地公害訴訟原告団

団長 福本道夫

(連絡先) 〒196-0001 東京都昭島市美堀町3-13-1

留守電/FAX 042-542-5625

第2次新横田基地公害訴訟原告団

団長 大野芳一

(連絡先) 197-0003 東京都福生市熊川1655-3

白鳥第2ビル302

TEL/FAX 042-552-4451